

5月26日・浦和・ツイントップ特別・ゴールのシーン

小島友実の

あの馬のSTORY



ホールドミーワンス

5月26日に浦和競馬場で行われたツイントップ特別でホールドミーワンスが逃げ切り勝ち！ 段々と未勝利戦のタイムリミットが近づく中で、待望の初勝利をマークしました。

管理する西園翔太調教師は1歳募集の取材の際、この馬について「見栄えがして、かっこよく見せる馬です」と高評価。「芝血統であり、距離が持つ手応えがあった事。そしてマイルの瞬発力勝負になるより、前々で運べる条件が良さそう」との考えから、昨年9月14日の中山芝1800㍍戦でデビュー。結果は7着でした。

「勝った馬がのちの皐月賞3着馬でしたから相手が強かったとはいえ、もう少し頑張れたのではないかと感じたのが正直なところです」

2戦目は少頭数のレースで芝をもう一度試す事になり、10月4日の京都芝2000㍍戦へ向かいますが4着。その後は疲労が見られたため、社台ファーム鈴鹿へ放牧。復帰戦となった3戦目、12月14日の中京1800㍍で初めてダート戦に出走しました。

「厩舎スタッフからは『ダートの方が良さそう』と話がありましたし、馬格もあるのでダートを試しました。ただレースでは、キックバックを嫌がったり、3戦目にして初めてもまれる競馬になり、力を出せませんでした」

4戦目からはブリンカーを着用。今年1月10日の京都ダート1800㍍に出走し、3着と前進しました。

「坂路で時計が出るようになって調教の動きが良くなっており、勝利を意識していたので、悔しかったです。でも、変わり身を見せてくれたのは良かったですね」

続いて、2月7日の小倉ダート1700㍍に向かったホールドミーワンス。しかし、「休み明け3戦目に加えて小倉への輸送もあり、見えない疲れがあったのかも。加えて先行争いが激しくなり、もまれて脚さが出てしまった」とのことで、12着と着順を落としてしまいました。放牧を挟み、4月18日の福島1800㍍で再度、芝が試されましたが7着。この結果から、師は「現状では少し距離が長いかもしれない」と判断。前述した浦和ダート1400㍍へ向かい、見事1着となりました！

「未勝利馬としては調教でかなり高いレベルの動きで走れるようになっており、未勝利は勝てると思っていました。ただ、時期的にタイムリミットが近づいてきましたからね。だから頭数が少なくて、逃げか2番手でレースができそうな交流戦を鷹揚させていただきました。野畑凌騎手には『もまれないように前々で』と伝えました。スタートで躓いて心配しましたが、うまくリカバリーしてハナを主張してくれました。交流戦では能力が抜けているし、自分のペースで競馬ができたのも大きかったですね」

現段階で、ホールドミーワンスの能力や課題をどう見ているのでしょうか。

「栗東の坂路で52秒台が出て、最後の1ハロンも12秒台前半でまとめられるので、能力があるのは間違いないと思います。その脚の速さをレースでも最大限に発揮できるよう工夫していきたい。今までもやってきていますが、調教で後ろから追いかけたり、逆に先行させて追いつかれても怖がらずに走れるようにする事を根気強く続けていくしかないでしょうね。課題はやはり気性面。怖がりの面が解消してくれたら、もっと活躍できると思います」

ちなみにホールドミーワンスは馬房では大人しいタイプで、飼葉食いが良いそうです。そして、運動や調教で外に出た後、馬房に戻るのを嫌がるとの事で（笑）、「狭い所が苦手なのかもしれない」と西園師は話していました。

最後にメッセージをいただきました。

「坂路の動きからも、まずあと1勝はできると思います。オープンを目標に、勝てるレース選択をしていきたい。デビュー当時に比べたらだいぶ幅が出て来てトモに筋肉がついてきた感じがあるものの、まだ3歳の夏なのでパンプアップできると思います。浦和戦の後は暑さが影響したのか疲労感が出たので、しっかり状態を見させていただきたいと思っています。次はダートの1400㍍などを走ってみたいですね」

なお、グリーンファームと西園翔太調教師はこれまでとても相性が良く、モンディーン、ワイドアウェイク（加用正調教師引退に伴う移籍後に1戦して勝利）、ホールドミーワンスが勝ったほか、西園正都厩舎から引き継いだレイナデアルシーラがエンプレス杯で3着に来て、再び軌道に乗ってきました。師は「期待が大きく、良い馬を預けて頂いていますから、それが大きいですよね。本当に感謝です」と話していました。今後も西園翔太厩舎から目が離せません。

（6月3日：電話取材）

profile

競馬キャスター&ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA－VANスマホアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2024年「馬場のすべて教えます2（主婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。